

從來七八十圓位ヲ得ル多數者ハ直チニ生活ノ存成ヲ来ラス又
ノニ付絶對ニ反對スヘシト硬論ヲ主張シ二派ニ分レタルニ結
合実行負、レテ関 一岡村春明以下十名ヲ送任シ同夜実行委
員中三名ハ神奈川鐵工組合本部ヲ訪レ報告シタル後翌二十六
日朝會社會堂ニ於テ実行委員會ヲ開催シ本部ヨリ由良多一郎
（川崎市議）出張シテ現下ノ財政狀况ヨリ見ルニ輕舉セザル
ヲ得策トスヘシト述ヘ結局一應職工ノミニ於テ社長ト面接シ
懇談ノ上解決ヲ計ルヲ穩當トスヘシトスルニ意見一致セリ

六、交渉状況

前項ノ如ク意見一致ク見タル爲実行委員十名ハ直チニ社長ト
會見シ関 一ヨリ
會社ノ提案ハ職首ノ前提ナリト解スル職工アルニ社長ノ直
意如何
①自分個人トシテ考フルニ組長副組長ノ平常ト塔勤賞與ノ如

キハ廢止セラル、又己ムナキ又ノト思慮スルニ既ニ賃銀ト
自ナル店ル特別年當ニ割五分ノ廢止ハ支給者ノ如キハ直チ
ニ生活上ニ脅威ヲ受ルモノニ於此、点職工ノ生活實狀ヲ考
ヘ同情アル措置ニ出テラレ度シト歎願シタルニ社長ハ①ニ
對シテハ總對談者ノ前提ニアラス諸年當ヲ廢止スルナラハ
現在ノ人負ニテ又苦境ヲ切抜ケ得ヘシト信シ且ツ失業者ヲ
出ストトク現時ノ世態ヨリスルニ穩當ナラスト考ヘ店ルニ
②ニ對シテハ自分ヲ職工トシテ考ヘル時ハ同様ニ
考ヘラレ 所ナルニ會社ノ苦境ニ臨ミツ、アル際故諸君ノ
辛抱ヲ顧ミタチモノニシテ職工諸君ノ立場ニハ同情シ居ル
モノナリ

ハ亦ハタルヲ結句職工側ハ生活費ニ關シ最低ノ費用ヲ調査シ
テ提出スヘキ故更ニ考慮ヲ拂ハレタシト述ヘ會社側ニ熟考
スヘキコト、ナリ會見ヲ了セリ